

御嵩町地域公共交通網形成計画について

(趣旨)

本町に居住する住民の公共交通を利用した移動手段として、名古屋鉄道（広見線）、一般タクシー、平成25年10月より自主運行バスとして御嵩町がふれあいバス（定時定路線）及びふれあい予約バス（デマンドバス）を運行し、さらに、可児市及び八百津町と共同してYAOバス（定時定路線）といった交通手段があり、地域住民の移動手段を確保、維持してきました。

近年の人口減少に伴う利用者の減少や利用手段の目的が多様化してきていることから、運行形態及び運行ルートをはじめ、名古屋鉄道（広見線）の運行ダイヤを主軸に近隣市町との協議を重ねながら、住民がより一層公共交通を利用しやすい環境とするべく、課題の整理等を実施する必要があります。

また、近年外国人観光客や他地域からの訪町者が増えていることから、観光振興の分野にも着目する必要があり、観光ルートとの調整についても検討、課題整理等を実施する必要があります。

このため、現在の利用状況等を調査し、真に必要とされているバス運行本数やルート、ダイヤ改正やルート変更を実施した場合の各地域における影響の分析について課題の整理等を実施し、その結果を踏まえ、まちづくりと一体となった地域公共交通網形成計画を策定することを目的として御嵩町公共交通網形成計画を策定します。

(業務受託事業者)

受託事業者名：株式会社 国際開発コンサルタンツ※

※御嵩町地域公共交通網形成計画策定調査業務に係る公募型プロポーザル実施要領に基づき、令和元年5月9日（木）に3社のヒアリングを実施した結果、株式会社 国際開発コンサルタンツが受託者に決定した。

受託業務範囲：①業務の実施計画と準備

②御嵩町の地域特性と公共交通の利用状況の検証

③地域公共交通網形成計画案のとりまとめ

④地域公共交通会議開催支援